



THE ROTARY CLUB

OF YAMATO-NAKA

大和中ロータリークラブ会報

Discover a New World 見つけよう

of Service

奉仕の新生面

1984~'85 R.I 会長 カルロス・カンセコ

猪熊会長 クラブターゲット 見なおそう 出席・親睦・そして奉仕を・・・

第 304 回 例会 59 年 7 月 19 日 第 310 号

出席報告

会員数	出席数	出席率	前回の修正
46 名	37 名	84.1%	100%

欠席者 (7名) 病欠 (芦田、伊藤(宣))

二見、細野、小島、清水、竹之内、種ヶ島、辻

本日のプログラム	7 月 26 日
清水 洋三君	「呼吸のしかた」

次 週 予 定	8 月 2 日
富沢重徳君 大高安男君	「オレは、チャーターメンバーだ」

司会 SAA 古木 勝治君
ソングリーダー 中西 功君
「奉仕の理想」

ビジター

上坂信夫君 (東京港南)

山崎善三郎君 (大和)

野島幸雄君 (座間)

橋本理吉君 (大和田園)

②お手許にパンフレットが届いていると思いますが、大和行革友の会が結成されるそうです。直前会長の長谷川さんと二見さんのお父様が發起人として加わっておられますので、お時間のご都合のつきます方は参加なさって下さい。

会長報告

会長 猪熊 唯夫君

- ①先週金曜日 (13日) 幹事とともに大和田園クラブを表敬訪問し、就任のご挨拶をして参りました。
- ②16日の月曜日、第11分区会長、幹事会が開催され出席して参りました。

幹事報告

幹事 伊藤 英夫君

- ①第 259 地区大会は来る 9 月 15、16 日神奈川県民ホールで開催されますが、全員登録と致します。登録料は次週より集金させていただきます。

委員会報告

職業分類委員会 委員長 有沢 昭二君

先週に続きまして職業分類一覧表に追加をお願い致します。「コンピューター機器販売」です。すでに辻君が「コンピューターシステム」という分類をお持ちですが、こちらは主にソフトではなくハードの販売ということ。これで現在充填職業46、未充填職業43となります。

直前国際奉仕委員会 委員長 鈴木久次郎君

1. 真実かどうか

2. みんなに公平か

3. 好意と友情を深めるか

4. みんなのためになるかどうか

事務所：大和市中央 1 - 5 - 4 0
大和 市 商 工 会 館 内
☎0462-63-7926
例会場：大和 市 大 和 南 1 - 4 - 4
八千代信用金庫大和支店 4 階
☎0462-64-3654

例会日：毎週木曜日12時30分より
会 長：猪 熊 唯 夫
会長レク：上 田 利 久
副 会 長：藤 田 重 成
幹 事：伊 藤 英 夫
会報委員：松本(三)・上村・伊藤(宣)

皆様をお願いしておりました交換学生ジェフに対する支援金の集金を完了致しました。

詳細につきましては、この事業終了後ご報告することをお約束しまして、ひとまず皆様のご協力に感謝申し上げます。

親睦委員会 **委員長 後藤 定毅君**

先週お知らせ致しましたように、今晚7時より相模健康センターに於きまして、前年度会長、幹事及び委員長の方々のご苦労さん会と、今年度役員の方々の激励会を兼ねました会を開催致します。会費は、2,000円ですがどうしてもご欠席の方々から頂戴するわけにも参りません。しかし皆様のお気持ちをございましたら、お帰りに事務局にありません BOX にご献金いただければ幸いです。

お祝

3年皆出席 橋本 健彦君
お誕生日 北砂 富三君 (7月20日)
 三浦 泰之君 (7月20日)

クラブフォーラム

「クラブ奉仕について」

司会 クラブ奉仕委員会 委員長 藤田重成君

司会：クラブフォーラムに入ります。

クラブ奉仕委員会には11の委員会がありますがこれから今年度会長の重点方針である、出席、親睦そして会員増強のことについて討論していきたいと思いますが、11の委員会はそれぞれ関連していることでありますので、当然話の中に出てくることでしょう。先ず**出席問題**について。我々がロータリーに入って自分達の生活に一番影響してくることは出席問題であると思います。大企業の方か時間的余裕のある人にとってはたいした問題ではないかも知れませんが、私のような者にとりましては、大変苦痛でございました。ロータリーは入会時に出席問題については厳しく教育して入会していたのですが、年月が経ちますうちに困難な問題に遭遇し、出席が出来なくなる場合があります。そうします

と出席問題に対し苦しさの余り疑問を持ってみたり悩んでみたり、批判してみたりすることがおきます。ロータリーはこの出席がすべての始まりであるという考えのもとに、4回連続欠席やホームクラブへの出席が半年間に60%以上でないと会員資格は終結ということになっています。ロータリーがこの出席を義務とし重要視している理論構造の理解とクラブの一員として置かれている立場の自覚とを持たなければいけないと思います。100%の皆出席は本人にとっては勿論クラブとしても貴重な財産であると思いますし一会員の問題ではなく、クラブ全体の問題として取組んでいかなければならないものだと思います。又、例会以外の公式、非公式の会合への出席参加もその人自身にとっては勿論、クラブを評価するという意味に於いても重要な要件であると思います。そこで今年度の出席委員長である松崎さんより一言お願いします。

松崎君：出席に関しましてはクラブ奉仕委員長が言い尽されましたが、私の本年度の考えとしましては、新会員に対して出席に関する説明会の実施をしていきたい。又一番解りにくいのが例会日変更に伴うメイクアップのしかただと思います。(北砂さんを中心として「ロータリーあれこれ」により、皆で検討してみました。)

司会：会長方針の中に親睦という問題がございますので次に**親睦問題**について

ロータリーではこの親睦ということは非常に大事な問題としていまして、先ず親睦である、ということがうたわれています。親睦があってはじめて奉仕が出来る。奉仕することによって更に又親睦が深まるというような事がいわれております。この親睦のことについて上田会長エレクトよりお話をうかがいたいと思います。

上田君：ロータリーでは奉仕、奉仕ということがよく言われますが、奉仕のギアをいきなり廻すとギアがこわれてしまいます。先ず親睦の

ギアを廻してそのエネルギーが奉仕のギアに廻る。そこがロータリーのロータリーなる所以であるということが良く言われます。世の中よくみますと親睦団体というのは結構ありますがロータリーの親睦は、仲間同志がお互いに行動しまして、その一つの場としてクラブ奉仕があると解釈しております。そのクラブ奉仕の場を媒介としましてお互いに相手の良い所を見つけ、自分の欠点を悟る。その間に心が高まってそれが自然に社会を潤す。これがロータリーの親睦である。と大村北ロータリークラブ発行の冊子に書いてありました。

親睦というのが大切であるということはよく解っているのですが、過去のことを見ますと、委員会の方々が大変ご苦勞なさっている割には、参加者がいつも同じ顔ぶれであって、出てこない人は出てこない。一体これは何だ／＼いくらきれいなことを言っても解らないではないか、という気がしますので、歴代の委員長さん方に一言ずつ、「如何にしたら立案した家族会、親睦会に一人でも多く参加してもらうことが出来るであろうか」反省という意味を含めて発言していただきたいと思います。新らしい方からいき

橋本君：私が考えたことは、ユニークな事をやりたいということでしたが、苦勞したことは年令差が余りにもあるということでした。先ず皆さんがどれ位体力があるのかと思い体力テストと思って大山をやってみて、ご年輩の方でも以外に体力があることが解りました。これを一つの基準として、次に文化的な生活には何が大事なのかをいったら、アカデミックなことをやったらよいのではないか、ということを基にユニークな計画をたてたのですが、出席される方はほとんど同じでした。そこで皆さんが本当の意味で積極的に参加出来るようなこと、そして費用のかゝらない、時間がかゝらないことをしてい

たらいいのではないかということをも反省とともに考えました。

山中君：私は入会した次の年に委員長を拝命しましたので何が何だか無我夢中でしたが、やはりこれは、どういう風に、誰がやっても皆さんが“協力して参加してあげよう、という気持ちがないかぎりは難しいのではないかと思います。みておりますとやはり仕事の関係で限定されると思います。日曜日が必ず休日になっている方の出席率が良いようで、日曜日にも仕事をもっておられる方は無理なのではないかと思います。

伊藤英君：私共の年度は副委員長さんが大変優秀でおられましたのでユニークで木曜日の例会日に行ないました。がやはり出席して下さる方は同じだったようです。特に夏は暑い所で、冬は寒い所でという形でやりましたが、いろいろな面で障害がありました。

今年度の方にお願ひしたいことは、一回目が欠席でも二回目は出てこられるような企画を練られたら如何かと思ひます。

鈴木君：私共の時は会員も少なく、比較的連絡も密にいき、バスも一台あれば十分足りるという状態でしたので、今考えてみますと、やり易かったと思ひます。どういう形で参加していただくかという事になりますと皆さんの興味ある場所を選定するのが一番難しいと思ひます。バスで出かける距離は限られてきますから、バスだけを頼るのではなく、大和のグラウンドで小運動会をやったりするのでもいいのではないかという感じもしました。しかし親睦につきましては、とにかく皆さんが参加出来るという企画を立てることが必要かと思ひます。

中西君：私の考えは、やはり良い企画、魅力ある企画に尽きると思ひます。私自身のことを振り返ってみますと、じっくり仕込んで、じっくり考えてやった企画は出席率がすごくよかったし小手先だけでやった企画は、やはり出席率が悪

かったように思います。反省しております。
やはり年令の事、趣味の事その他のいろいろの事を考えて、じっくり企画したものは、それなりに多くの参加者を得られると思います。

上田君：どうもありがとうございました。

確かに今のご発言の通りなのですが、初めやる人はだいぶ楽で、だんだん種がなくなってきてしまうというのが現実ではないかと思えます。今年度は今のお話にございましたようなことをふまえて、立案等は皆様への呼びかけも含めまして後藤さん一言

後藤君：過去の各委員長さんからいろいろお話を伺いましたが、私は前々から思っていました。ロータリアンの諸氏は社会的な形でいろいろな所のつながりを持っておられるという事が一般の方々とはだいぶ違うところではないかと思えます。つながりが多いという中で、心はあってもロータリーの親睦活動への参加が鈍くなり、ロータリーの方は欠席しても他の方への義理とかがつながりを持っておこうというようなことでつい見過しがちになっているのではないかと理解しようと思っています。そういう中で友情というものを経験して感じる意味で、どうしてもロータリー活動に参加出来ない場合は、声をかけ合っていたりとか、気持ちの一端をお金を通して表現し、ご都合がついて出席して下さる人達がもっともっと楽しく出来るような形でご援助していただくという事で今年一年はやっていきたいと考えております。とにかく格調高く、楽しくやって参りたいと思えます。

亀谷君：歴代の委員長さんの苦心談をお聞きしたのですが皆様実によくやっていたらっしゃると敬意を表したいと思えます。出席される方が決まっているということですが仕事上出たくてもどうしても出られないという方がかなりいらっしゃると思えます。その辺の所をお考えになったらいいのではないかと思います。

上田君：これは親睦委員会の活動だけではないのですが、すべて決まってしまうと参加しろというのではなくて、立案する時点で、日時、行事について最大公約数を求めていくという方法も考えてみる必要があるのではないかと思います。いずれにしても皆で考え、皆で参加するという気持ちで協力をお願いしたいと思います。

司会：時間がなくなり会員増強についての討論が出来なくなりましたがご容赦下さい。

スマイルボックス 委員長 北砂 富三君

東京港南RC 上坂信夫君

お暑うございます。本年度も又宜しくお願い致します。

大和RC 山崎善三郎君

本日は、お世話様になります。

座間RC 野島幸雄君

新年度になって初にお伺い致しました。どうぞ宜しくお願い致します。

大和田園RC 橋本理吉君

本日はお世話になります。よろしく……。

橋本健彦君 3年皆出席を祝って下さり有難うございました。

中西 功君 うしろの席にいる方にも、よく指揮棒が見えるからというだけの理由で、ソングリーダーに選ばれました。前任者ほどユーモアのセンスはございませんが、宜しくお願い致します。

三浦泰之君 38になりました。ガンバリます。宜しく……。

スマイル委員長と一緒にの日とは？

親をうらんだ方がいいのか？

北砂富三君 誕生を祝っていたらき有難うございます。だんだんあの世が見えてきますが、止まる方法を教えて下さい。